

# 視聴覚教育

NO.346

発行日

20.10.15

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

## 視聴覚用語 ハードロッカー

### ポータブル

データを暗号化できる最大容量2GBのUSBメモリ。データを自動的に暗号化し、安全に持ち運び、学校外のパソコンへの不用意なデータのコピーを防止する。インターネット接続を自動的に遮断し、情報漏えいを防ぐことができるものである。

## 新学習指導要領における

### 「視聴覚・情報教育」のポイント

学習情報指導員 本間 茂夫

今年三月、新学習指導要領が公示され、七月には解説が示されました。「教育の情報化」に関する記述の変化には見逃せないものがあります。ポイントを整理しておきましょう。

#### 《小学校指導要領総則より抜粋》

各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手投に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

小学校では、今までの「マウスをクリックする」「ホームページを見る」といった慣れ親しむ段階から、コンピュータで文字を入力するなど、基本的操作を身につける段階に進みます。小学校で基本操作ができていることを前提として中学校での学習が進むことを考えると、ローマ字による文字入力 文節ごとの漢字変換 キー

ワードによるホームページ検索 目的にあった情報の選択 静止画像の利用と加工 文字と静止画のあるまとの作成、などができることが必要です。つまりコンピュータ利用が各教科での学習のねらいを達成するための直接的な手段として位置づけられてきたのです。

情報モラル教育については、低学年のうちから行うこととなります。「情報モラル」の問題が、仮想空間で起きることではなく、実生活内で起きることや「情報モラル」は「現実の社会モラル」と同じであることを幼いうちから理解させる目的があるからです。

#### 《中学校指導要領総則より抜粋》

各教科等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

中学校の総則には、「情報モラルを身につけ」がはじめにきていることから、中学校での情報モラル指導の重要性を意識しなくてはなりません。

ん。これは、ネット被害の九割以上が中高生の女生徒である実態を深く受け止め、中学校では早急かつ確実に「情報モラル」の指導をし、親にも積極的な啓蒙をはかるなどの対策が求められていることを示しています。

コンピュータ利用では、適切かつ主体的に情報を利用するとあるように、生徒が自ら利用することが明記されています。情報モラルも含めて、普段から正しい情報の判断力とその実行力を育てていくことがいっそう大切になってくるのです。

### 「視聴覚あれこれ」

#### 《今すぐ使える情報モラルソフトの紹介》

##### Netモラル

情報モラルに係る事例のデジタル紙芝居を見たり、ドリルを進めたりしながら、情報モラルについての理解を深めることができます。

##### キューブ・キッズ

##### イントラバケット(わいわいレコーダー)

情報モラルの大切さを、メールやチャットの疑似体験を通して学ぶことができます。

##### e セキュリティー

児童・生徒だけでなく、教師が情報セキュリティについて、研修することができる教材です。



## 「実践報告」

### 「テレビ電話を利用した職場体験の事後指導」

福岡中学校 教諭 大塚 真悟

本校の二年生は、総合的な学習の時間に、学年テーマ『生き方を高める』を掲げ、夏休みに職場体験を行っている。その後、職場体験のまとめを行うものの、体験先の方との関わりがそれだけになってしまいう傾向がある。そこで、お世話になった事業所の方と代表生徒が、テレビ電話を通して交流することで、職場体験学習で見つけた学びをより深めていきたいと考えた。

代表生徒A君は、職場体験学習での事業所の方のお話から、「コミュニケーションが大切だ」という言葉が心に残り、「人と人との接し方をどうしたらよいか」を追究したいと考えた。そこで、テレビ電話を利用して会話をを行い、相手への優しさをもって接することを学んだ。他の生徒にとっても、相手の表情が見えることから、目を輝かせて、テレビを見つめていた。



今回のテレビ電話は、インターネット上のフリーソフト『スカイプ』とウェブカメラで行い、映像や音声もほとんどきれなく、実用に十分耐えうるものであった。生徒の職場体験後の生き方を高める追究活動の意欲付けとして、十分効果があったと感じられた。

## 「レッツ・トライ」

### 「簡単手作り新聞『歴史人物館』」

六年生で社会を指導すると、一人調べをさせたい、でも時間がないというジレンマに陥る。よし、やろうと調べ始めると、図を入れたい、グラフも入れたいとなるが、時間がないし子供が書くと訳がわからなくなる。そんなとき見つけたのが「OKリンク」の「Web教材」にある『歴史人物館』である。

初めは一人調べ用に子どもに紹介するWeb教材のつもりだった。いろいろ試しているうちに見つけたのが「歴史新聞を作ろう」のコーナーである。人物の下にあるアイコンから入り、その人物に関係のある図・写真・地図を選ぶ。ドラッグして貼り付け、プリントアウトすると、A4用紙に印刷されて出てくる。そこに調べたことを書きこんでいくのである。図が入っただけで妙にうまくまとめた気分になっている子供たち。一人調べがなかなか進まない子ども、意欲的に進めることができた。ぜひ、一度お試しください。



(六ツ美西部小学校 学習情報主任 神野裕美)

## ライブフリーだよ

### 第7回全国子ども科学映像祭について

子供たちの科学への関心を喚起しカメラの目を通して、科学の楽しさや素晴らしさを理解させ、「科学する心」を育むことを目的とした映像作品のコンクールです。応募作品から入賞作品を選び、表彰式で上映し、映像祭としています。

#### 「応募要項」

作品のテーマ

- ・小学生部門「みぢかな生きもののふしぎ」
- ・小学生が、父母または祖父母など保護者や教師と協力して作る。



- ・中学生部門は「科学の不思議を見つめると」
- 個人またはグループで作る。

作品は科学全般

作品の上映時間は3分以上10分以内。

応募締切

・平成20年10月31日(当日消印有効)

制作上のきまりや応募上の注意など詳細は、

日本視聴覚教育協会ホームページ

<http://www.javea.or.jp/kodomei/zo/>

または、全国子ども科学映像祭ホームページ

<http://contest.jst.go.jp/kodomo/index.htm>まで